

～笑子・幸齢化のまちづくり～

子どもたちの笑顔があふれ、幸せに年齢を重ねられるまちづくり

重点施策

持続可能なまちづくりを進めるため、
5つの課題について、
全庁的に共通の視点を持って
総合的に取り組みます。

5 地域人材の
確保・育成

1 子育て・学習支援

2 切れ目ない
福祉・医療の充実

4 ゼロカーボン
シティ推進

3 スマートシティ推進

政策分野

各政策分野の課題解決に
向け取組みます。

I 教育・文化

II 防災・防犯

III 産業・経済

IV 都市基盤

重点施策1 子育て・学習支援

未来の担い手である子どもを産み育てやすい環境を整えるため、「伊勢市健康福祉ステーション」を中心に妊娠・出産・子育てへのサポート、さまざま相談支援を行うとともに、修学に係る経済的支援などを行います。

主な取組



駅前子育て支援センター

「キッズ☆もっとテラス」の開設

新規

2,212千円

地域子育て支援センター事業(一部)

保育課

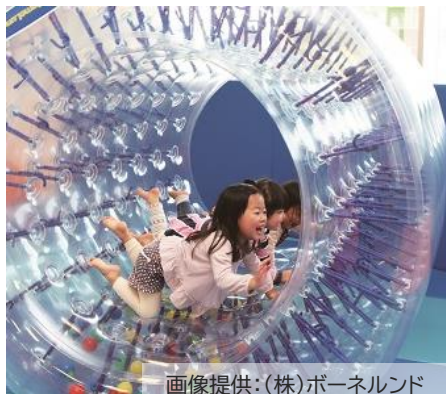
新たに「駅前子育て支援センター」を開設。多数の屋内運動遊具を備えた交流ひろばの提供や、育児相談・指導などを実施。

生まれこどもたち公園整備事業

94,700千円

基盤整備課

誰もが集える憩いの場として、令和4年度の朝熊山麓公園に続き、市営大仏山公園へ新たにインクルーシブな遊具設置など公園施設を充実。



画像提供：(株)ポーンランド



朝熊山麓公園完成予想図(R4年度事業)

不妊不育治療費助成事業

20,780千円

健康課

保険適用外の先進的な治療や、保険適用となる回数を超えた特定不妊治療への助成を新たに追加し、不妊に悩む夫婦を支援。

妊娠出産支援事業

17,344千円

健康課

妊娠から子育て期の切れ目ない支援を実施。臨床心理士による「ママ☆ころの相談室」の拡充や、新たに産後ママ対象の子育て教室を開催。

0歳児・未就園児等見守り支援事業

2,714千円

子育て応援課*

母子保健と連携し、社会から孤立しやすい家庭の見守り支援を実施。0歳児に加え、新たに地域とつながりがない未就園児家庭の訪問を実施。

こども発達支援事業

7,080千円

こども発達支援室

新たに専用の発達検査室やプレイルームを設置し、発達に関する専門相談や発達検査、保護者支援を拡充。

奨学金育英事業

25,748千円

奨学金育英事業、臨時特例奨学金

学校教育課

経済的理由で修学が困難な学生生徒を対象に給付型の奨学金を支給。「伊勢市奨学金」の対象に新たに専修学校を追加及び支給額の一部増額。また、コロナ禍を受けた「臨時特例奨学金」(所得基準緩和)を継続実施。

給食用食材費負担軽減

16,419千円

幼稚園食材費負担軽減事業、保育所等食材費負担軽減事業、学校給食用食材費負担軽減事業

教育総務課、保育課、学校教育課

幼稚園・保育所等、小中学校における給食等の食材費支援を継続実施。

*印は、R5.4から福祉総合支援センター

重点施策2 切れ目ない福祉・医療の充実

誰もが住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられる地域社会を実現するため、悩みや問題を抱える方に寄り添いながら相談を受け止め、ライフステージに応じた切れ目ない福祉支援を行うとともに、地域医療体制の確保・充実を図ります。

主な取組



孤独・孤立対策推進事業 新規 21,760千円

福祉生活相談センター*

多分野協働プラットフォームによる働きづらさを抱えた人たちの社会参画を支援。

※R4.9国の「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業」取組団体に決定(全国で17市区町村のみ ※当時)

おでかけ支援事業 新規 40,809千円

高齢・障がい福祉課

高齢者、障がいのある人の外出機会を増やし、社会参加を促進するため、バスとタクシーのどちらでも利用できる「おでかけ乗車券」を交付する事業を社会実験として開始。

生活困窮者自立支援事業 34,943千円

生活支援課*

生活困窮者に対する自立促進のための相談支援、就労支援、住居確保給付金の支給、また、子どもの相談・訪問支援を実施。



障害者地域生活支援事業 184,935千円

高齢・障がい福祉課、福祉生活相談センター*

障がいのある人への相談支援、日常生活用具の給付、移動支援、日中一時支援事業などを実施。

新たに介護者の急病時等に施設等で一時受入できる体制を構築。

避難行動要支援者対策事業 7,197千円

高齢・障がい福祉課

要支援者一人ひとりの避難計画を整理する「個別避難計画」の作成促進のため、新たに福祉専門職が作成を支援する制度を創設。

医科診療所改修事業 54,274千円

健康課

診療環境及び患者の利便性を向上するとともに、患者数の増加や感染症の感染拡大時にも救急医療の提供を継続できるよう休日・夜間応急診療所を改修。

救急センター(仮称)の開設(病院事業) 新規 135,954千円

市立伊勢総合病院

救急医療体制の強化を図るため、救急センター(仮称)を新たに設置。(二次救急医療の輪番当番日を週1回から2回に変更)



*印は、R5.4から福祉総合支援センター

重点施策3 スマートシティ推進

行政のデジタル化を推進し、市民サービスの向上に努めるとともに、市民のデジタルリテラシー向上に取り組めます。また、地域全体でのデジタル化を推進し、地域課題解決を行うスマートシティの実現に向けて取り組めます。

主な取組



行政手続きのオンライン化

5,209千円

デジタル活用推進事業(一部)

デジタル政策課

市民サービス向上を目的に行政手続きをオンライン化。
※令和5年度末時点で累計70種類の手続きを実装予定

図書館への電子書籍の試験導入

新規

1,302千円

図書整備経費(一部)

社会教育課

子どもの読書環境の充実を図るため、児童用電子書籍を試験導入。

SNSを活用した相談窓口・情報発信

6,649千円

小地域活動推進事業(一部)、
デジタル活用推進事業(一部)

福祉生活相談センター*、
デジタル政策課

- ・さまざまな福祉の困りごとについて、LINEを活用した相談しやすい環境を提供。
- ・伊勢市公式LINEの情報発信カテゴリーを細分化し、市民生活に役立つきめ細かな情報を発信。



伊勢市スマート申請で
いつでもどこでも行政手続き



高齢者向けスマートフォン教室の様子

市民のデジタルリテラシー向上に向けた取組

9,180千円

地域活動デジタル化推進事業(一部)、
デジタル活用推進事業(一部)、
生涯学習推進事業(一部)

市民交流課、
デジタル政策課、
社会教育課

高齢者や地域の団体等を対象とした研修会・相談会等を開催。

デジタル専門人材の育成

新規

800千円

雇用就労支援事業(一部)

商工労政課

IT関係の国家試験(ITパスポート)の受験・合格に向けた支援制度を新たに創設。

庁内の推進体制の強化

新規

5,600千円

外部人材活用事業(一部)

職員課

デジタルの専門知識等を有する人材確保のため外部人材を登用。

*印は、R5.4から福祉総合支援センター

重点施策4 ゼロカーボンシティ推進

ゼロカーボンシティをめざし、温室効果ガス排出量等の実態把握、脱炭素型ライフスタイルの促進、脱炭素経営の促進、温室効果ガスの吸収源対策、公共施設の脱炭素化等を進めます。

主な取組



交通対策

27,542千円

コミュニティバス運行事業(一部)、
自転車を活用した取組の検討(非予算化)

交通政策課

おかげバスにおいて電気バス車両2台を運行。
市民や観光客の移動手段としての自転車活用などに向けて「伊勢志摩地域における自転車等活用検討会」において計画策定を進める。



現在、路線バスで運行中の電気バス

©2023 Pokémon. ©1995-2023
Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

LED化の推進

44,756千円

小学校整備事業(一部)、
消防署庁舎改修経費(一部)、道路維持補修経費(一部)

教育総務課*、
消防本部総務課、維持課

小学校の屋内運動場や消防御園分署、道路照明等をLED化。
(施工予定小学校: 修道、早修、明倫、御園)

プラスチック製品の分別・資源化

新規

18,035千円

再資源分別回収事業(一部)、
MOTTAINAI推進事業(一部)、
ごみ減量・資源化事業一般経費(一部)

ごみ減量課

新たに一部地域においてプラスチック製品の分別回収を開始。



森林経営管理事業

45,300千円

農林水産課

森林の間伐等を促進し、温室効果ガス吸収源となる森林の持続的な保全を推進。

事業者の取組支援

新規

3,047千円

脱炭素社会普及促進事業(一部)

環境課

新たに省エネ診断、温室効果ガス排出量算定などの事業者の取組に対する支援制度を創設。

脱炭素化に向けた基礎調査

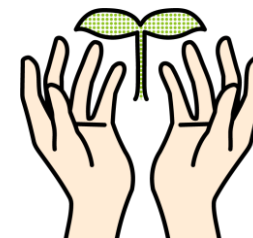
新規

3,080千円

脱炭素社会普及促進事業(一部)

環境課

市域の温室効果ガス排出量・吸収量、また、市民・事業者の意識・取組等に関する調査を実施。



*印は、R5.4から学校施設整備課

重点施策5 地域人材の確保・育成

少子高齢化・人口減少が進行するなか、次世代のまちづくりへの参加促進、デジタル活用による地域活動の負担軽減、地域と企業等の連携促進などに取り組みます。

主な取組

いせミライプロジェクト推進事業



500千円

市民交流課

次世代のまちづくりへの参加促進を目的として、高校生が自ら企画し、まちづくりを実践する機会を提供。



小中学生による地域の魅力・課題のまなび

2,091千円

観光人材育成事業(一部)、
次世代のための文化芸術推進事業(一部)

観光振興課、
文化政策課

小中学生を対象とした伊勢の文化等を学ぶ講座等を開催。
短詩型文学祭(小中学生対象)の開催にあたり、俳祖荒木田守武生誕550年を記念した企画を実施。

消防団員の確保の取組

非予算化

消防課

消防団員の確保を目的として、各種イベント会場で放水や資機材の操作、応急手当などの体験型イベントを開催。



地域活動デジタル化推進事業

新規

3,100千円

市民交流課

デジタル回覧やオンライン会議の導入などのデジタル化に向けた取組を支援するため、研修会の開催やアドバイザー派遣等を実施。

地域活動を担う人材の育成

586千円

地域自治推進事業(一部)

市民交流課

まちづくり協議会や自治会、及び地域活動団体と関わる市職員を対象とした研修会や講演会を開催。

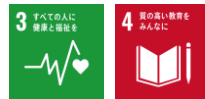
地域と企業等の連携促進

非予算化

市民交流課

社会貢献活動を行う企業等と地域のマッチングを支援。

1 学校教育



学力向上推進事業

6,825千円

学校教育課

子どもたちの学習内容の理解・定着状況や課題を把握(学力調査等)するとともに、それに基づいた授業改善の研究や取組を推進。
新たに小学校における教科担任制についての研究推進校を指定。

不登校対策子ども未来サポート総合推進事業 12,082千円

教育研究所

不登校児童・生徒の社会的自立を目指した総合的な支援、また、教職員や保護者向けの研修会等を開催。
児童生徒自立支援員を増員し、支援体制を強化。

2 学習支援



子どもの学習支援等事業

9,114千円

生活支援課*

困窮世帯の子どもの居場所づくりを兼ねた個別指導型の学習支援を実施。
受入定員を増加するとともに、夏休み期間にも実施する等、支援内容を拡充。

学習サポート事業

23,004千円

子育て応援課

貧困の連鎖を防止するため、無料の学習塾を開催するとともに、民間学習塾に係る授業料等を補助(教育クーポン)。

3 社会教育



生涯学習推進事業

2,370千円

社会教育課

生涯にわたり、主体的に学び続けることのできるよう、さまざまなニーズに応じた学習の場を提供。
オンラインによる講座の拡充、また、Zoom体験講座等、オンラインによる受講環境づくりを強化。

4 スポーツ



インクルーシブスポーツ推進事業

899千円

スポーツ課

障がいの有無を問わず誰もが自分のスタイルでスポーツを楽しめるインクルーシブスポーツを推進。
※先導的共生社会ホストタウン(R3東海地方で唯一認定)関連事業
※伊勢市パラスポーツ協会(R4設立)との連携

5 文化



賓日館保存事業

8,957千円

文化政策課

令和8年度からの耐震改修工事に向け、賓日館の保存・活用を図るための「保存活用計画」の策定に着手(R5、R6で策定)。

アクティブ・アート推進事業

4,536千円

文化政策課

文化芸術分野のプロのクリエイターと連携した展示やワークショップを開催。
※「クリエイターズ・ワーケーション促進事業」(R2~R4)関連事業

1 防災・減災



災害対応デジタル推進事業

20,500千円

危機管理課

避難生活時の情報取得環境を確保するため、避難所(避難生活施設)にWi-Fi環境を整備。
令和4年度に11施設の整備を完了、令和5年度は12施設を整備予定。

備蓄倉庫等整備事業

新規

19,100千円

防災施設整備課

防災備蓄倉庫の整備(「小俣南部防災倉庫(仮称)」の地質調査・造成設計)、また、物資拠点となる伊勢志摩総合地方卸売市場の非常用電源対策(可搬式発電機整備)を実施。

排水機場維持管理経費(ポンプ場機能更新)

110,000千円

維持課

長期補修計画に基づき施設管理を行い、不具合を未然に防止。
・いな川ポンプ場設備補修工事他5施設

水道管路、施設の耐震化(水道事業)

239,600千円

上水道課

水道施設の耐震化を推進。
・病院等災害時重要給水施設への給水ルートの耐震化(1,120m)
・加圧ポンプ場(前山・横輪)耐震補強詳細設計

勢田川流域の浸水対策の推進(下水道事業)

512,600千円

下水道建設課

勢田川流域等浸水対策実行計画に基づきポンプ場・排水路を整備。
・黒瀬ポンプ場ポンプ増設工事
・松尻2号雨水幹線排水路築造工事



上下水道部庁舎の建設(水道事業・下水道事業)

472,566千円

上下水道総務課

災害時にライフラインの復旧拠点となる庁舎の整備。
・小俣浄化センター解体工事
・上下水道部庁舎設計業務委託

2 防犯



防犯活動推進事業

12,635千円

危機管理課

地域安全講習会の開催などにより、市民の防犯意識の高揚・地域防犯体制の充実を図る。
高齢者の特殊詐欺被害防止のため、新たに対策機器購入費への補助制度を創設。

1 観光



ターゲット戦略推進事業

44,301千円

観光誘客課

取組ごとにターゲットを定めた魅力的な観光情報の発信や旅行商品の造成等を実施。
新たに一人旅を行う男性をターゲットとした取組も展開(ライフスタイル雑誌とのタイアップ事業等)。

外国人観光客誘致推進事業

20,997千円

観光誘客課

今後の観光客の柱となり得る外国人観光客の誘致を展開。
欧米圏における認知度向上を目的に、伊勢志摩地域で連携したフランスでの伊勢志摩観光PRも実施。

バリアフリー観光推進事業

3,202千円

観光振興課

バリアフリーの観点から受入環境の整備、受入能力の向上を図り、ユニバーサルツーリズムの普及を促進。
新たに国の「心のバリアフリー認定制度」の周知及び登録促進、伊勢おもてなしヘルパーの活動拡大等を実施。

安全安心な観光地づくり推進事業

14,076千円

観光振興課

感染症や自然災害への対策、また、多言語対応等の受入れ環境整備を推進。

2 商工業



商業活性化推進事業

20,036千円

商工労政課

地域住民や観光客のニーズに応えた商業環境の整備や賑わい創出等のため、商業団体等への補助金交付、また、国の「地域おこし協力隊」制度を活用した取組を実施。

3 雇用・就労



雇用就労支援事業(再掲)

4,427千円

商工労政課

ハローワーク等と連携した就労支援及びインターンシップの促進等による地元企業の人材確保を支援。
IT関係の国家試験(ITパスポート)の受験・合格に向けた支援制度を新たに創設。

4 農林水産業



競争力強化チャレンジ応援事業

3,648千円

農林水産課

農産物の認知度向上や生産量増加及び品質向上、また、6次産業化等に向けた取組を支援。
※農福連携によるワイン製造を支援するため、ワイン特区の認定取得を推進中

獣害防止事業

14,124千円

農林水産課

農作物等の被害軽減のため、個体数調整、被害防除、生息環境調査、地域や猟友会の活動支援等の被害防止対策を実施。
令和5年度から「有害獣の目撃情報報告システム」を本格稼働。

水産物供給基盤機能保全事業

49,400千円

農林水産課

村松漁港第2物揚場の保全工事を実施。
本工事をもって、大淀、村松、豊北、松下漁港の施設保全に係る初期の対策が完了。

1 土地利用



中心市街地再生事業

186,430千円

都市計画課

中心市街地活性化を目的に民間事業者の市街地再開発事業を支援。



伊勢市駅前C地区完成イメージ図
画像提供:伊勢市駅前C地区市街地再開発組合

2 住宅



住宅・空家リフォーム促進事業

20,000千円

住宅政策課、
商工労政課

居宅のリフォーム、また、空家の利活用に向けたリフォームに係る費用に補助を行い、住宅活用を総合的に支援。

空家のリフォームについては、**子育て・移住を促進するため、子育て世帯、移住世帯には補助上限額を上乗せ加算。**

3 道路



高向小俣線ほか1線整備事業

1,031,008千円

基盤整備課

老朽化が著しい現宮川橋の代替機能を持つ高向小俣線ほか1線(宮川橋)の道路整備。(橋梁下部工事)

岡本吹上線改良事業

10,850千円

基盤整備課

宇治山田駅前の無電柱化による道路の安全性の確保や景観の向上。(詳細設計等)

4 交通



コミュニティバス運行事業(再掲)

137,653千円

交通政策課

おかげバスなどのコミュニティバスの運行。
地域が運営する乗合タクシーの運行を支援。

自転車を活用した取組の検討(再掲)

非予算化

交通政策課

自転車を活用した観光やスポーツ振興、利用しやすい環境整備などに向けて、「伊勢志摩地域における自転車等活用検討会」において計画策定を進める。